

# 豊岡市地域デザインプラン素案の概要 【城崎・港地域】

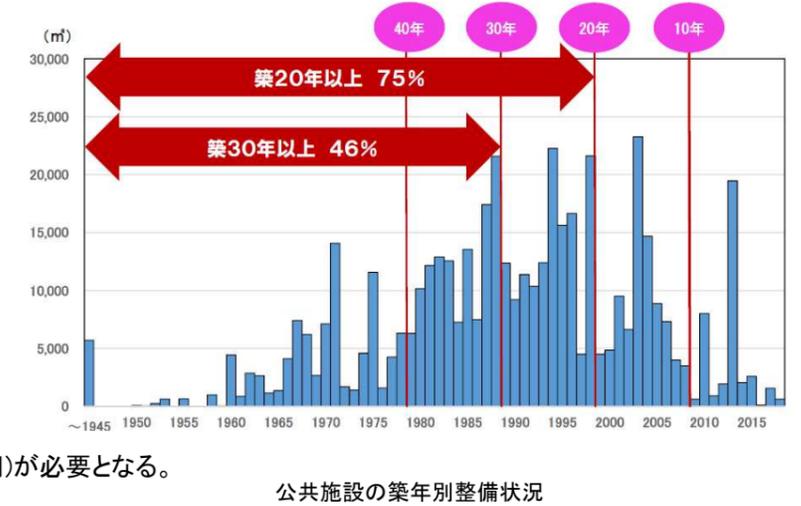
## 1. 地域デザイン懇談会の経過（城崎・港地域）

開催日	会場・人数	テーマ	概要	議事概要	
				WSの結果	アンケートの結果
第1回 3月18日 (木) 19:00~	■会場: 城崎庁舎 ■参加人数: 21名	公共施設に対する意識共有	ランダム(5テーブル)に分かれて、城崎・港地域にある公共施設を5つの指標を用いて定性的に評価した。	・各施設への定性的な評価が比較された。 ・各施設の評価や利用状況について意見があった。	・公共施設マネジメントについて概ね理解ができたという意見が多かった。 【自由意見抜粋】 ・市の重大な課題について知ることができた。等
第2回 7月7日 (水) 19:00~	■会場: 港地区 コミュニティセンター ■参加人数: 18名	ライフスタイルイメージの確認	ランダム(5テーブル)に分かれて、公共施設と自身の生活との関わりから課題を整理した。	・施設、サービス以外にも思いや経緯についてなどさまざまな意見があった。 ・港西小学校についての意見がたくさんあった。	・気になる建物として港西小学校を挙げた人が多かった。 【自由意見抜粋】 ・さまざまな意見が聞けて楽しかった。等
第3回 8月5日 (木) 19:00~	■会場: 城崎庁舎 ■参加人数: 11名	必要な施設市民サービスの整理	年齢別(3テーブル)に分かれて、公共施設の機能集約に向けてアイデアを出し合った。	・各テーブルで、機能集約についてのアイデアについて話合った。 ・健康福祉センター、アートセンターについての意見が多かった。	【自由意見抜粋】 ・サービスは低下させないようにしてほしい。 ・施設が大きな地区に偏らないようにしてほしい。等
第4回 10月12日 (火) 19:00~	■会場: 城崎庁舎 ■参加人数: 17名	必要な施設市民サービスの整理	年齢別(5テーブル)に分かれて、施設の平面図を使用し、公共施設の削減目標を意識し、公共施設のあり方について対話した。	・文芸館と麦わら細工伝承館を統合する意見が多かった。 ・木屋町小路を民間へ委託するという意見が多かった。	【自由意見抜粋】 ・集約しすぎると過疎になる。 ・集約は機能向上に繋がるので必要。等
第5回 11月15日 (月) 19:00~	■会場: 港地区 コミュニティセンター ■参加人数: 15名	公共施設再編モデルケースの検討	年齢別(5テーブル)に分かれて、公共施設の削減目標を意識した公共施設のあり方について対話し、全体で共有した。	・各テーブルで提案のメリットデメリットを考え、全体で共有した。 ・文芸館と麦わら細工伝承館の統合、木屋町小路の民間委託、市営住宅の集約という意見があった。	【自由意見抜粋】 ・両地区民で大いに議論して目標を見出した。 ・たくさんの人で話し合うことは大事だと思いました。等
第6回 12月6日 (月) 19:00~	■会場: 城崎庁舎 ■参加人数: 16名	城崎・港地域デザインプラン案の作成	年齢別(5テーブル)に分かれて、公共施設の在り方について、これまでのアイデアを踏まえて対話した。	・各公共施設のアイデアに対するコンセプトや、まとめについて対話を行なった。	・公共施設に関する考え方は、変わった、やや変わったの合計が約7割であった。 【自由意見抜粋】 ・全6回参加しました。非常に有意義でした。等

## 2. 地域デザインプラン作成の趣旨

### 豊岡市の公共施設の現状と課題

- 保有量が多く老朽化する施設
  - ・574施設、総延床面積 48.7 万㎡(市民一人当たり 5.6 ㎡)を保有している。
  - ・築30年を経過した公共施設が2019年時点で46%あり、10年後にはその割合が75%になるため、今後多くの施設で改修や建替えの時期が到来する。
  - ・現在の施設をそのまま維持・更新する場合の費用を試算すると、今後40年間で総額1,828億円(年平均約46億円)が必要となる。



### ■施設保有量の数値目標

- ・施設の更新に必要な約46億円に対して、充当できる経費は21.2億円/年(長期財政見通し(2016年5月公表)から試算)である。
- ・不足額の解消のためには、長寿命化(施設を有効活用して長く使用)とあわせて、40年間で公共施設の延床面積を34%削減することが必要となる。

### 地域デザイン懇談会の趣旨

地域のまちづくりや賑わいづくりを見据えながら、地域に必要な施設・公共サービス提供機能について、ワークショップを通して対話を行うため、旧市町単位を基本に地域デザイン懇談会を開催した。

### 公共施設の「賢い使い方」をまとめよう

1. 必要な機能(市民サービス)を確保し市民の暮らしを守る。
2. 次世代に負担と責任を先送りしない。

「あったほうがいい」

↓ 転換 ↓

「本当に必要なもの(機能)を賢く使う」

### 地域デザインプラン作成の趣旨

地域デザイン懇談会(市民ワークショップ)での対話を通じて生まれた、地域内の公共施設へのアイデア等を、地域デザインプランとしてとりまとめ、今後の協議やプラン推進に活用する。

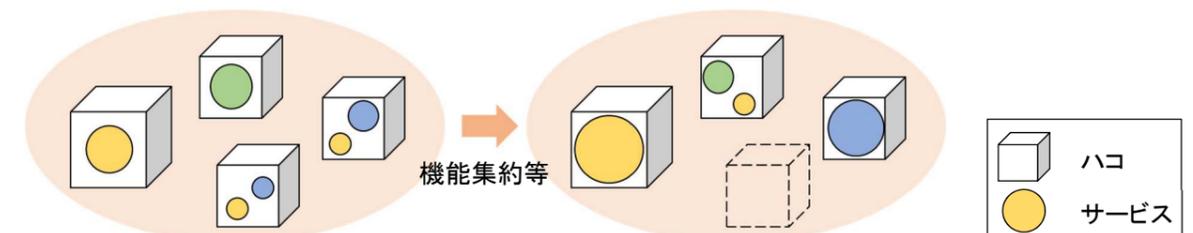
## 3. 地域デザインプランで掲げる “公共施設と共に歩む市民生活の将来像”

### 公共施設をスリム化しよう！

～無駄を減らし、心豊かに生きていくための小さな工夫を集めよう～

## 4. 地域デザインプラン(豊岡市の公共施設)の基本的な考え方

公共施設のハコは減らしても、サービス(機能)は減らさない。



## 豊岡市地域デザインプラン素案の概要 【城崎・港地域】

### 5. 地域デザインプランのアイデア一覧

公共施設 の分類	施設名称	公共施設を賢く使うためのアイデア(地域デザイン懇談会での検討結果)
01 庁舎等	城崎振興局	【アイデア】 コンセプト: 行政・福祉・文化施設の統合-「統合」 ■健康福祉センターと市民センターを統合し、城崎振興局に集約
04 コミュニティセンター	各地区コミュニティセンター	【アイデア】 コンセプト: コミュニティセンターは地域に一つという状態を堅持する-「継続」 ■コミュニティセンターはそれぞれ現在の場所に残す
06 文化施設	城崎市民センター	【アイデア】 コンセプト: 文化施設と健康福祉施設を集約して行政施設に統合することでスリム化し市民の利便性を高める-「移転」 ■健康福祉センターと統合し庁舎等へ集約
06 文化施設	城崎国際アートセンター	【アイデア】 コンセプト: これまで築き上げてきた市の演劇をはじめとするアート系文化を継承するため、大学あるいは民間のノウハウにより、より有効で充実した運営を目指す-「譲渡」 ■文化施設を県立大学または民間に譲渡する
07 図書館 08 博物館・資料館	図書館城崎分館 城崎文芸館 城崎麦わら細工伝承館	【アイデア1】 コンセプト: 博物館・資料館を集約しスリム化を図る-「移転・統合」 ■博物館・資料館の統合 【アイデア2】 コンセプト: 図書館と博物館・資料館を1ヶ所に集約し、スリム化を図る-「移転・統合」 ■文芸館に麦わら細工伝承館、図書館を集約する 【アイデア3】 コンセプト: 博物館・資料館に床面積の過剰な健康福祉施設を集約して施設のスリム化を図る-「統合」 ■文芸館に麦わら細工伝承館、健康福祉センターを集約する 【アイデア4】 コンセプト: 床面積が過剰な健康福祉施設の建物を有効活用するため社会教育施設を統合する-「移転」 ■博物館・資料館は一つに集約し健康福祉施設に移設する
09 社会教育系施設	ハチゴロウの戸島湿地	【アイデア】 コンセプト: 近隣の施設とともに民間譲渡し、民間のノウハウを活用しながら一体的な利用を図る-「譲渡」 ■社会教育系施設を近隣の環境関連施設とともに民間に譲渡する
10 健康福祉施設	城崎健康福祉センター	【アイデア1】 コンセプト: 床面積が過剰な健康福祉施設を博物館・資料館に統合することでスリム化を図る-「移転」 ■福祉施設を博物館・資料館に機能移転し集約する 【アイデア2】 コンセプト: 健康福祉施設と文化施設を集約して行政施設に統合することでスリム化し市民の利便性を高める-「移転」 ■市民センターと統合し行政施設へ集約 【アイデア3】 コンセプト: 床面積が過剰な健康福祉施設の建物を有効活用するため社会教育施設を統合する-「統合」 ■博物館・資料館を集約統合する 【アイデア4】 コンセプト: 福祉施設は単体で維持する-「継続」 ■単独の健康福祉施設として維持する

公共施設 の分類	施設名称	公共施設を賢く使うためのアイデア(地域デザイン懇談会での検討結果)
18 温泉施設	城崎温泉交流センター	【アイデア】 コンセプト: 民間のノウハウを使って施設を有効利用-「譲渡」 ■地元事業者等民間に譲渡する
19 産業系施設	木屋町小路	【アイデア】 コンセプト: 民間のノウハウを使って施設を有効利用-「譲渡」 ■地元事業者等民間に譲渡する
20 環境関連施設	豊岡市エコハウス	【アイデア1】 コンセプト: 民間のノウハウを使って施設を有効利用-「譲渡」 ■環境関連施設を近隣の社会教育系施設とともに民間に譲渡する 【アイデア2】 コンセプト: 環境性能のよい建物を有効活用し、学生等の暮らす場所として利用する-「譲渡」 ■県立大学に譲渡して学生のためのシェアハウスとして活用する 【アイデア3】 コンセプト: 一定の役割を終えた環境関連施設は廃止する-「廃止」 ■環境関連施設は廃止する
21 中学校 22 小学校	各小・中学校	【アイデア1】 コンセプト: 地区に1つの学校を残すために、それぞれの地区の小中学校を一貫校として統合し学校を存続させる-「統合」 ■城崎と港の小中学校をそれぞれ一貫校にし統合する 【アイデア2】 コンセプト: 地域全体に小学校と中学校を1校ずつ残すために、小中学校それぞれを統合して存続させる-「統合」 ■地域内の中学校・小学校をそれぞれ1校に統合する 【アイデア3】 コンセプト: 小学校は出来るだけ地域内に残したい。中学校は他地域と統合し、学校のスケールを維持することを優先する-「統合+移転」 ■中学校は豊岡地域内の中学校と統合し、小学校は統合して地域に1つ残す
28 公営住宅	各公営住宅	【アイデア1】 コンセプト: 公営住宅は老朽化したものから順次廃止し、住宅の取得が困難な人たちの住宅確保は、家賃補助など、建物整備以外の方法で行う-「廃止」 ■比較的古い公営住宅は、入居者がいなくなったら建替えない 【アイデア2】 コンセプト: 公営住宅は統合し、住宅の取得が困難な人たちの住宅確保は、家賃補助など、建物整備以外の方法で行う-「統合」 ■比較的新しい建物に順次集約していく